

おめでとうございます  
ごぞいませ

## 松井恒樹先生、 第12回神戸内科学セミナーで表彰!!

【臨床  
研修医】  
松井 恒樹



左から:首藤 彰先生、河原 史明先生(消化器内科医長)、松井 恒樹先生  
南 晶洋先生(消化器内科部長)、野中 英美先生(内科部長)

この度は、神戸大学主催の第12回神戸内科学セミナーにて演題発表を行い、優秀演題賞に選出いただきました。発表準備の際には、消化器内科、放射線科の先生方に変な熱心に、微に入り細を穿つご指導を頂きました。甲南病院では、2年間の臨床研修中に学会やセミナーといった公の発表の場を複数回経験し、その度に指導医の先生方から、ご教示頂くことで大変勉強になりました。日々の診療のみならず、このような院外活動についても、機会を場と与えて下さり、感謝しています。本当にありがとうございました。

「地域の皆様と心を通わす」

# 甲南通信

## 地域で進む高齢化社会を 専門職が支えます



2019  
新年号  
No. 10



## 甲南病院前道路が 美しく見通しが改善、 より安全な通行に!



### 甲南病院前道路

この度、甲南病院前のバス路線道路が通行しやすく、美しく変身!それに伴い歩道、バス停も整備され、これまでの急カーブや狭い歩道による危険も少なくなりました。甲南病院建替工事の進行に伴い、さらに整備される予定です。



[診療科ニュース]

- ◎寒い日は要注意!高齢者の心不全
- ◎適切な対策で、冬の脳疾患を予防!
- ◎専門医増員により腫瘍・血液内科が本格始動!

第12回  
神戸内科学  
セミナー  
優秀演題賞  
受賞!!

[Information] ◎ 新任医師の紹介 ◎ 連携登録医の紹介



### 甲南病院

〒658-0064 兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16  
TEL:078-851-2161(病院代表)  
TEL:078-854-4370(地域医療連携室/患者サポートセンター)



### 六甲アイランド甲南病院

〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中2-11  
TEL:078-858-1111(病院代表)  
TEL:078-858-2322(地域医療連携室/患者サポートセンター)



# 寒い日は要注意！高齢者の心不全！

## 診療科ニュース **NEW**

### 心不全の要因となる不整脈 診療を拡大しています。



六甲アイランド  
甲南病院 副院長  
循環器内科

清水 宏紀

寒い日が続きますが、この時期は風邪、インフルエンザ罹る患者さんが増えます。さらに心不全の患者さんが急増します。心不全の原因は寒暖の変化に伴う血圧の上昇、風邪やインフルエンザによる身体ストレスが考えられます。

心不全の原因となる心疾患は、心筋梗塞、心筋症（拡張型心筋症、肥大型心筋症）、弁膜症（大動脈弁狭窄症・閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症・閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症）があります。また高血圧、心房細動などの不整脈も原因となります。（図1～3）

図1) 心筋梗塞

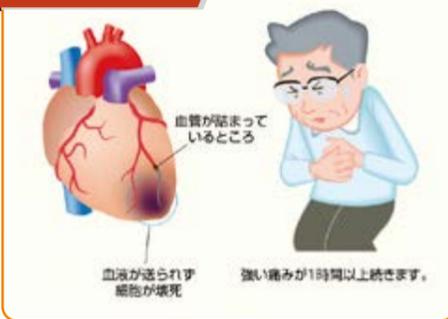


図2) 心筋症

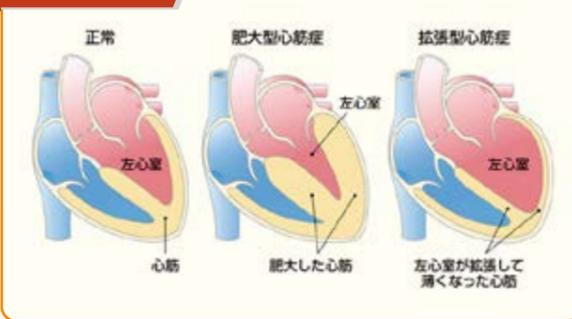
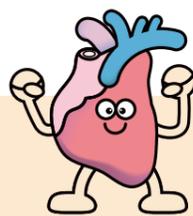
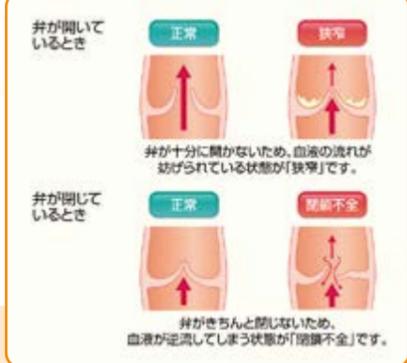
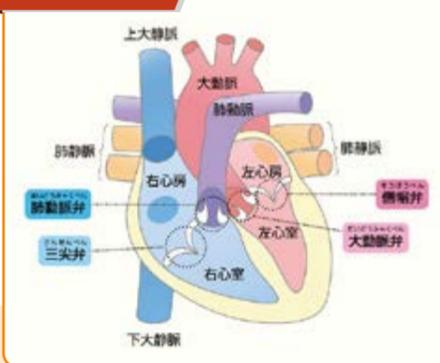


図3) 弁膜症



### ▶ 心不全とはどんな病気でしょうか？

日本循環器学会の一般向け定義は「心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です」とされています。心不全は進行性疾患であり、その予後は不良である悪性疾患と言えます。（図4）症状は労作時の息切れ、夜間の起座呼吸、下肢のむくみです。（図5）典型的な症状は同年齢の人と同じような速度で歩けない、二階まで上がれなくなった、夜息苦しくて目が覚め座ると楽になるなどの症状です。症状がなくても急に体重が増加した場合には心不全の可能性があります。心不全の進行程度を分類したステージ分類があります。（図6）心臓が悪くない時期（ステージA）から高血圧、糖尿病、動脈硬化性疾患の治療を早期に始めることが重要です。一旦心不全になればその生命予後は悪く薬による治療、機械的なサポート、心臓リハビリが重要となります。

図4) 心不全の経過

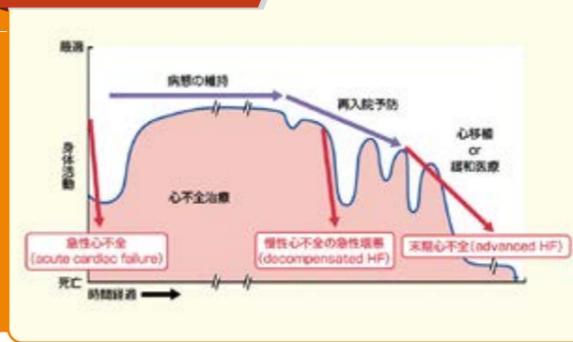


図6) 心不全のステージ分類

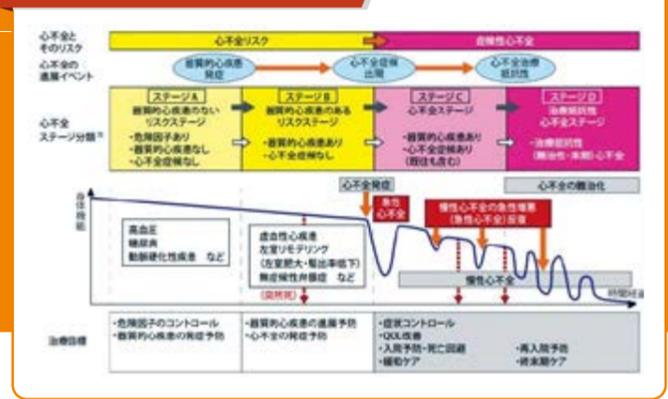
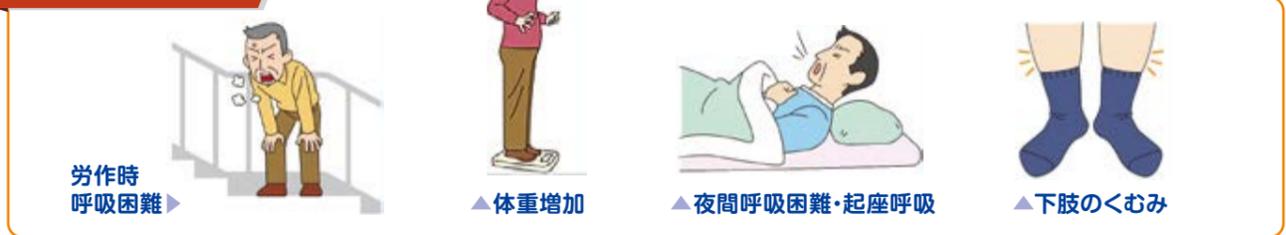


図5) 心不全の症状

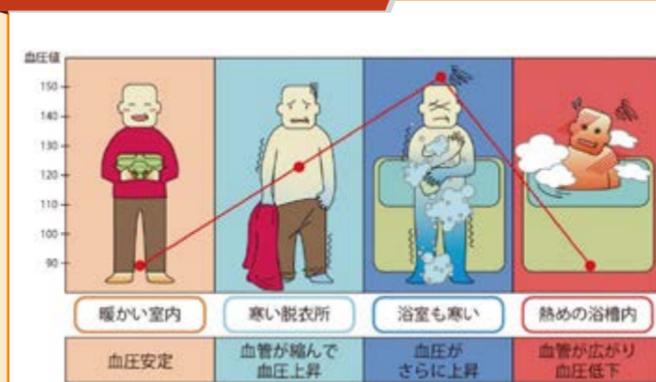


### ▶ 高齢者の心不全の特徴

高齢者は高血圧、糖尿病、慢性腎不全、COPDなどの肺疾患が併存していることが多く、それらの併存疾患の増悪が、心不全を引き起こしやすくなります。また、加齢とともに心筋の線維化が起こり、心筋の拡張能が低下します。すなわち、心筋の弾性が低下し、拡張しにくくなります。高血圧、心房細動を合併することが多い、さらには認知症、フレイル(虚弱)、サルコペニア(筋力低下)を伴っていることも多いのが特徴です。基本的な治療は薬物治療(利尿剤、アンギオテンシン変換酵素阻害薬、β遮断薬)になりますが、高齢者は副作用が出やすく、治療が難しい場合が多いのが現状です。手術も治療の一つですが、併存する疾患のためリスクが高くなることもあります。

心不全にならない、もしくは悪化させないためにはどうすればよいのでしょうか。心不全を確実に予防する方法はありません。できることは生活習慣の改善です。塩分制限、節酒、水分制限、適度な運動をすることが大切です。禁煙は必須です。6g以下の塩分制限、アルコールはビール中瓶1本または日本酒1合程度、冬場であればそれほど喉が乾かないので1000～1500ml/日の飲水にしてください。また味付けの濃い食事をすると、のどが渇き水分摂取量は増えます。できるだけ薄味にした食事をとってください。運動は30～60分の運動を日に2～3回するのが理想です。家に閉じこもっていても確実に筋力が低下し、フレイルに陥ります。適度な運動をして筋力の保持に努めてください。冬になると、風呂場での事故が増えてきます。脱衣場で急に体が冷えると、ヒートショック

図7) 風呂場でのヒートショック



と言って血圧が急に上昇し、心筋梗塞、脳卒中を引き起こすことがあります。（図7）これにより、1万人以上が亡くなっていると推定されています。脱衣場と浴室を温める、熱い湯には入らないことを心がけることが大切です。

寒い時期になると、心不全の患者さんが救急搬送されることが増えてきます。日頃から少しの心がけて防ぐことができます。以上の点に注意し、寒い時期を乗り切ってください！



# 血液がん治療を強化!

診療科ニュース **NEW**

## 大量化学療法、多剤併用 化学療法が可能、本格始動へ!

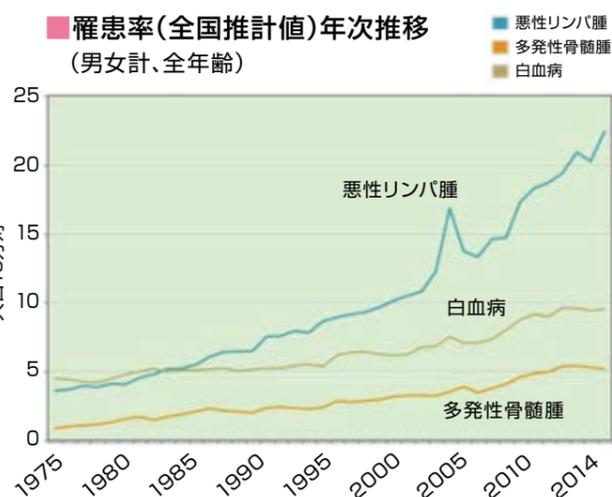
甲南病院 腫瘍・血液内科 診療部長 下山 学

2018年4月より、血液内科医として赴任し、約10ヶ月が経過しました。東神戸在住の方を中心に、少しずつ患者数も増え、20代から90代まで幅広い年齢層の方を診察しています。疾患も再生不良性貧血、栄養障害に伴う貧血、免疫性血小板減少性紫斑病などの良性疾患から悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄増殖性腫瘍、骨髄異形成症候群などの血液腫瘍まで多岐にわたっています。血液腫瘍は、国立がん研究センターからの報告にもある通り、悪性リンパ腫を中心に増加傾向にあります。当院でも、多数の悪性リンパ腫症例の加療を行っています。

近年進歩の著しい新規薬剤に加え、吐き気止めや増血剤などの支持療法を用いた標準的治療を提供していきます。また、標準的治療以外にも合併症や年齢を含めた全身状態、その方の価値観なども考慮し症例毎に最適な治療を提案できるように心がけています。

### 今 後 の 展 開

第I期工事が終了し、現在建築中の建物が完成すれば、大量化学療法が可能でクリーンルームが稼働します。難治性悪性リンパ腫や多発性骨髄腫に対する大量化学療法、自家末梢血造血細胞移植療法、急性白血病に対する多剤併用化学療法が可能となります。このことで、これまで以上に様々な病態に、対応できるようになります。同種移植や放射線治療などが必要な場合は、近隣の施設との連携となりますが、できるだけ診断から治療までの一連の流れを、当院で完結できるようにしていきます。また、2019年1月から腫瘍内科医が増員となり、腫瘍・血液内科として臓器横断的な加療を進めていきます。



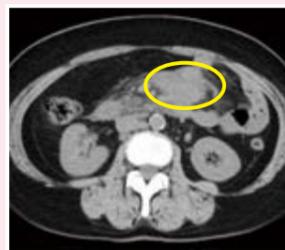
資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター



背部に皮膚腫瘍を生じた芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍



化学療法施行後、周囲の小々な病変も含めて腫瘍は消退した。



腹腔内リンパ節腫大を生じた悪性リンパ腫



化学療法施行後、リンパ腫病変(丸で囲んだ部分)は縮小した。

# がん化学療法をさらに強化!

Information

## 新任医師の紹介

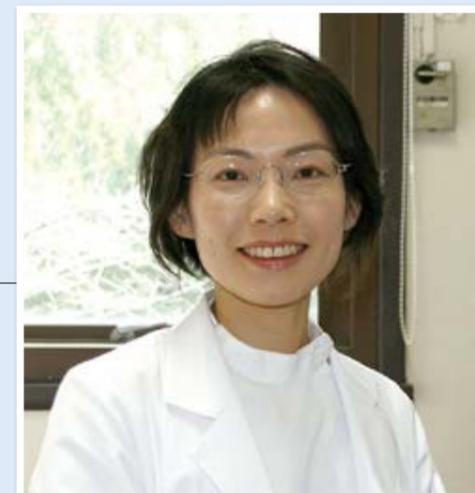
『地域のみなさま、  
宜しく申し上げます』



甲南病院

チャヤハラ ナオコ

腫瘍・血液内科部長 茶屋原 菜穂子



2019年1月より着任いたしました、茶屋原菜穂子です。これまで神戸大学病院、神戸低侵襲がん医療センターにて腫瘍内科医として診察してまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

## <腫瘍内科とは>



腫瘍内科は日本ではまだ歴史が浅く、2000年代に誕生した診療科です。そのため皆様には、あまり馴染みのない診療科かと思えます。腫瘍内科とは、臓器を問わず悪性腫瘍(がん)を持った患者さんの内科的な治療を担当する科で、主にがん薬物療法(抗がん薬による治療)を専門的に行っております。最近のがん薬物療法の発展はめざましく、従来の抗がん薬に加え分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬といった新しい薬剤が次々と登場しており、治療選択、副作用管理とも高い専門性が必要となっています。また、どの臓器からがんが発生したのかわからない原発不明がんや、2つ以上のがんを持つ患者さんもおられます。腫瘍内科では、このようなこれまでの臓器別診療科では対応が難しいがんを含め、科学的根拠に基づいた薬物療法を行うとともに、他の専門診療科と連携し、それぞれの患者さんに最適な診療を提供しています。

## ~今後の抱負~

私は、これまで消化器がん、乳がん、肺がん、頭頸部がん、原発不明がん等のがん薬物療法に携わっており、これらの診療経験を活かし、消化器がん、乳がんを中心に血液がん以外の様々ながんの薬物療法に対応させていただきます。がんの治療では、患者さんを中心に医師、看護師、薬剤師等多職種が一丸となり患者さん、ご家族を支えるチーム医療が重要です。甲南病院には、消化器、乳腺領域を中心に優秀な外科医、内科医が在籍し、また緩和ケアも非常に充実しています。これら院内各診療科、部署と協働し、またかかりつけの近隣の先生方とも連携しながら、患者さん一人一人の病態、ニーズに合わせ、科学的根拠に基づいた治療を提供していきたいと思っております。地域の皆様に安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。



# 地域が進む高齢化社会 を専門職が支えます



2012年8月、神戸市から甲南病院が市内2番目の  
認知症疾患医療センターの指定を受け、開設しました。  
2015年10月に六甲アイランド甲南病院へ  
移転し、公的に規定されている  
専門医療活動と地域連携拠点としての  
活動を行っています。

認知症疾患  
医療センター  
センター長

小倉 純



## 地域連携拠点活動



当センターでは、専門職を対象とした事例検討会を年2回開催しています。  
さらに、神戸市東部の有識者等が中心となって、医療及び介護等の課題解決や支援  
を有効かつ適切に行うことを目的とした神戸市東部認知症連携協議会を、年1回、連  
携協議会の運営委員会を年2回開催しているほか、年1回神戸市の他の認知症疾患  
医療センターと合同で、市民や専門職に向けた認知症研修講演会を実施しており、  
他機関との連携強化や地域の課題解決、認知症の啓発活動に貢献しています。

## 認知症予防

認知症はお薬ではなかなか改善が難しい病気です。薬以外の予防として生活習慣を  
見直すことで認知症を遅らせることができると言われています。

### 1 運動

1日20分程度のウォーキングや体操  
を習慣的に行いましょう。地域の高齢  
者施設等で定期的に体操教室を行っ  
ているところもあります。



### 3 食事

脳の血流をよくする  
不飽和脂肪酸が豊富な魚や抗酸化作用のある野菜や果  
物をバランスよくとりましょう。



### 4 社会参加

人とコミュニケーションを図ったり、外出や習い事を始  
めることで脳へ刺激を与え、活性化に繋がります。  
認知症は早めに気づいて早めに予防することが重要と  
言われています。

### 2 睡眠

生活リズムを整え、1日7時間程度の良質な睡眠をとりま  
しょう。当たり前のことですが朝にカーテンを開けて日光を  
浴びることは大切なことです。

## 専門医療機関活動

### 1 認知症の鑑別診断

週2回、もの忘れ外来を行っています。かかりつけ医  
からの紹介による受診を原則としており、問診・血液検  
査・神経心理学検査、神経画像検査(頭部MRI、脳血流  
シンチほか)等の検査を実施しています。待機期間を経  
て受診していただくため、患者・家族に対し、幾度か診  
察・検査を行って丁寧に説明することで、認知症への不  
安の軽減を図っています。



### 2 行動・心理症状(BPSD)を 呈するケース

外来診療で、対応できる範囲を超えた患者の精神科入院  
治療は、協力病院である仁明会病院等と連携し対応してい  
ます。認知症患者が、身体疾患を併発し入院した場合は、医師  
とセンター員である認知症看護認定看護師や臨床心理士な  
どが認知症ケアラウンドチームを構成し、入院時のせん妄や  
認知機能障害の悪化に対応しています。

### 3 認知症の専門医療相談

精神保健福祉士が中心となり、医師・認知症看護認定看護  
師・臨床心理士がそれぞれの立場で協力し連携し合っ  
て、認知症患者の介護対応や福祉制度についての説明・紹介、行動・  
心理症状等についての相談を電話や面談で受けています。



▲ 認知症疾患医療センタースタッフ

## 認知症によくある症状

- 同じことを何回も言ったり聞いたりする
- 物や人の名前が思い出せない
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 財布を盗まれたと言う
- よく通る道なのに迷ってしまった
- 身だしなみがだらしくなった
- ささいなことで怒りっぽくなった
- 幻視があるなど何らかの精神症状がある
- 気分が落ち込み、好きだった趣味に興味を示さなくなった



急激な症状の悪化は身体症状による影響が考えられるため、  
まずはかかりつけの医師にご相談ください。

## 今後の展望

2019年には、神戸市の認知症診断助成制度が開始となり、鑑別診断の受診者数が増え  
ると予想されます。このような状況に対し、甲南会では2019年10月の新甲南病院完成を  
契機として、認知症疾患医療センターを再び甲南病院に移転し、外来の単位数を増やすと  
ともに、診断後の専門医療相談や生活支援相談をより充実させ、地域連携を強化して、  
社会に貢献したいと考えています。

# 急激な温度変化に要注意!

診療科ニュース **NEW**

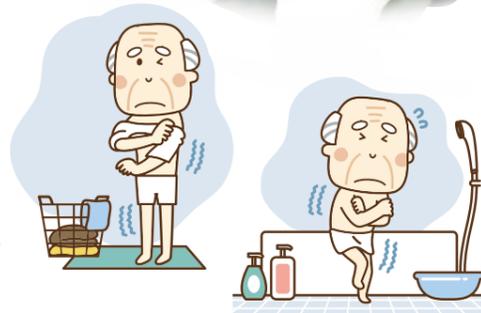
## 適切な対策で、冬に多い脳卒中・頭部外傷の予防を推進

六甲アイランド甲南病院 脳神経外科 診療部長 本岡 康彦



### 冬場に注意したい脳疾患

冬は気温が下がり、大気が乾燥します。環境の変化に対応するように私たちの体にも一定の変化が起こります。基礎代謝や交感神経の緊張が亢進するといわれています。季節の変化に伴って起こりやすい脳疾患があるのでしょうか? また、どのような対策をとればよいのでしょうか?



### ▶ 脳卒中と季節性

脳卒中(脳血管障害)は主に脳出血と脳梗塞に分けられ、日本人の死因の4位を占める疾患です。脳出血は寒い時期に多いことは以前から知られており、血圧上昇と関係が強いようです。一方、脳梗塞の発症と季節性については諸説ありましたが、日本人を対象とした最近の報告により、脳梗塞全体としては発症率において季節による差がないことがわかりました。しかし、高齢者(75歳以上)の脳梗塞や心原性脳梗塞(心臓由来の血栓による脳梗塞)に限ると冬に多いという結果でした。冬場の脳卒中を避けるには、急激な温度差を避けることが大切です。天気予報に留意して気温の変化をチェックする習慣を持ち、家庭内での温度の低い部屋(トイレ、脱衣場)の適切な暖房対策や外出時の防寒は有効な対策です。また、より嚴重に高血圧や心疾患などの基礎疾患を管理する事が大切です。さらに、夏に限らず冬でも長時間の入浴、暖房器具や飲酒などによる脱水を起こしやすく、脱水を避けることは全季節に共通した脳卒中予防のポイントです。こまめな水分補給を行いましょう。アルコール、緑茶、紅茶やコーヒーは利尿作用があるため水分補給には向かず、水やノンカフェイン飲料がおすすめです。

**ワンポイント** 冬に起きやすい脳卒中の予防には血圧の安定と水分補給が大切です!



### ▶ ウィンタースポーツと頭部外傷

冬はウィンタースポーツを楽しむ季節でもあります。雪や氷の上での転倒は手足の捻挫や骨折だけでなく、しばしば頭部外傷が問題になります。

最近の報告では、特にスノーボードにおいて、ジャンプなどによる大きな運動エネルギーにより、スキーに比べて数倍も頭部外傷を来しやすいと報告されています。スノーボードの頭部外傷は、初心者も多く、後頭部打撲が多い、脳に回転力が加わり重篤な硬膜下血腫を来しやすい、健忘(物忘れ)が多いという特徴があります。頭部の保護とともに、しっかりとした準備運動や適切なコーチングを受けることが望ましいです。

**冬の暮らしにおける適切な対策で脳疾患の予防を心がけながら、健康に冬を過ごしましょう!**

こうなん  
ニュース

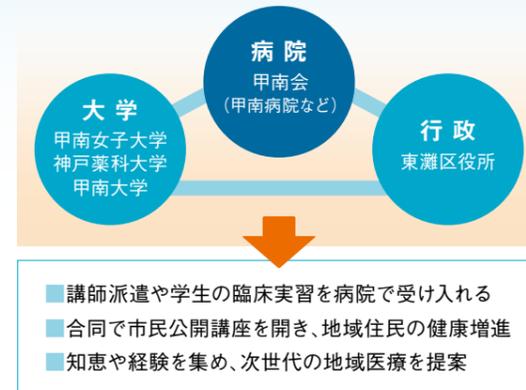


## いよいよ、東灘次世代医療人材育成コンソーシアムが始動します!



左から: 東灘区 榎野区長、神戸薬科大学 北河学長、甲南病院 具院長、甲南女子大学 森田学長、甲南大学 長坂学長

東灘次世代医療人材育成コンソーシアムと目的



『東灘次世代医療人材育成コンソーシアム設立式典』が、11月17日(土)14:00~ 平生記念セミナーハウス(東灘区住吉本町)で執り行われました。

これは甲南会が甲南女子大学、甲南大学、神戸薬科大学、東灘区役所とともに、それぞれの機関の特色を最大限に活かして連携を深めながら、病院、大学、行政機関が一体となって、優れた若手医療人材の育成と地域住民の健康増進に取り組もうというものです。

当日は、甲南会を含む関係5機関から162名の出席がありました。式典の中で、各機関の代表者が協定書に調印し、その後、神戸大学大学院・福本巧教授が記念講演をいたしました。



具 院長挨拶

## 医療法人 認徳会 田中医院

院長 田中 良樹

住所: 神戸市東灘区本山中町3-4-13

TEL: 078-411-2234

FAX: 078-411-2239

診療科目 内科・循環器科

H P <http://www.tanaka-clinic.or.jp>

アクセス 電車: JR摂津本山駅より徒歩7分

阪急岡本駅より徒歩15分

バス: 阪神バス「小路」バス停より3分

お車: 国道2号線 小路交差点、北に上がり1筋目の東角

(駐車場はございませんので、近隣の有料パーキングをご利用ください)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	休み	○	○	休み
午後 16:30~19:00	○	○	○	休み	○	休み	休み

※月曜日14時から在宅カンファレンス・在宅訪問診療 ※木曜・日曜・祝日は休診

甲南病院グループとクリニックの病診連携

登録医制度のご案内



『名医より良医 銘木より良樹』

診療内容の特徴・今後の抱負

昭和36年に先代の父、田中四郎が「田中小児科」として開院しました。昭和63年から小生が内科・循環器を担当「田中医院」となりました。区内の病院・診療所との連携で、地域の方々が最期まで自宅で過ごせるような全人的で質の高い医療提供を行いたいと考えております。

# 貸切バスで 快適な旅

安全

快適

親切

グループでの  
パーティーや旅行に

会社での  
見学・研修に

クラブでの  
合宿・試合に

豊富なバリエーションで、あらゆるシーンに対応いたします。



## マイクロバス

乗務員 1名  
座席数 27  
(内補助席 6)  
トランク なし

## 中型送迎バス

乗務員 1名  
座席数 44  
(内補助席 7)  
トランク なし

## 大型観光バス

乗務員 1名  
座席数 53 ~ 56  
(内補助席 8 ~ 10)  
トランク あり

その他、ワゴン車タイプや大型送迎バスなどもございます。(いずれも運転手付き)



〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東1丁目4  
TEL:078-845-3710 FAX:078-845-3713  
http://www.kobe-minato.co.jp

ご相談・お問合せ・お見積り

お客様窓口 078-845-3710

国土交通省制定「新運賃料金制度」に基づいた適正料金にて運行いたしております。

神戸老舗《萩原ブランド》を使用した  
美味しいコーヒーの店

# Ric Cafe!



六甲アイランドにお住まいの皆様、六甲アイランドに訪ねて来られた皆様が、ほっと一息つける温かみのある落ち着いた空間と、美味しいコーヒーやバラエティに富んだフード、デザートをご用意して皆様のお越しをお待ちしています。

※六甲アイランド甲南病院を利用されている方には診察券のご提示でドリンク 50円割引サービスを実施しています。



六甲アイランド シティモール (六甲アイランド甲南病院 2F出口から直ぐ)  
Ric cafe リックカフェ AM7:30~PM7:00(年中無休)  
〒658-0024 神戸市東灘区向洋町中2丁目11 TEL:078-811-7116



想いをかたちに 未来へつなぐ

**TAKENAKA**

竹中工務店

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 7-1-8  
TEL : 078-265-3314

## ホテル高層階&ガーデンサイドの個室を3時間貸切り♪ ママ会&女子会プラン

お一人様 1,880円(税別)~  
(平日 11:00~21:00/大人4名様から受付)



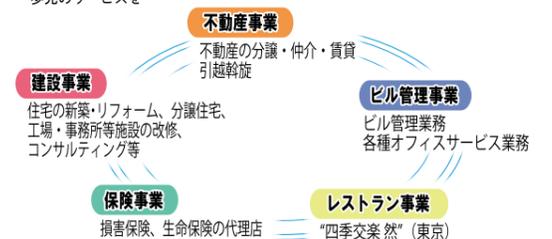
コーヒー or 紅茶おかわり自由!

HOTEL PLAZA KOBE TEL: 050-3177-5401  
ホテルプラザ神戸 神戸市東灘区向洋町中2-9-1



より良い明日へ  
一歩先のサービスを

**Kawasaki**  
Powering your potential



**カワサキ ライフ コーポレーション**

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号 神戸クリスタルタワー  
TEL: 078-360-5400 FAX: 078-360-5405 URL: http://www.kawasaki-life.jp  
事業所: 神戸 / 東京 / 岐阜 / 明石 / 坂出

